



がん患者さんが 自分の力を取り戻せる場所

カドル (cuddles) とは「優しく抱きしめる・寄り添う」「心と体を落ち着ける」という意味です。
相良病院11階のカドルハウスは、桜島と錦江湾を望む最上階にあり、経験を積んだ看護師と乳がん体験者のスタッフが患者さんやご家族をサポートしています。
対話を通して、患者さんご自身が本来の力を取り戻したり、同じ体験を持つ人の輪が広がったりと、患者さん同士の交流の場としての役割も果たしています。

カドルハウスができること

1. 診察室や病室とは異なる癒しの環境を提供すること
2. 患者さんやご家族のお話をゆっくりとお伺いすること
3. 治療や治療中の生活に役立つ情報を提供すること
4. 患者さん同士や医療者との交流をサポートすること
5. サバイバーシップ支援に関する情報を発信すること

アピアランスセンター



化学療法中に使える帽子や乳がん術後・再建後の補正用品、肌、爪のケア用品などを自由に見て試したり、購入できるアピアランスセンターを併設しています。

※相良病院以外で治療中のがん患者さんやご家族もアピアランスセンターの利用やご相談が可能です。
詳細は下記へお問い合わせください。

お問い合わせ

がん患者さんが 自分の力を取り戻せる場所

〒892-0833
鹿児島市松原町3-31 相良病院11F

月～金曜
10:00～12:00 / 13:00～16:00

土日・祝日 休み

お電話でのご相談

☎ 099-208-0035

＼SNSで情報発信中／

その他のお問い合わせ

☎ 099-222-7116 (内線1054)

www.sagara.or.jp



SAGARA_CUDDLEHOUSE

がん患者さんが
自分の力を取り戻せる場所

カドルハウス

社会医療法人博愛会 相良病院



ステンドグラス「VIVERE(ヴィベレ)」

患者さん同士の交流の場として 医療者に相談できる場として
毎月300名以上の方がカドルハウスに訪れています。



語らいのひとときを過ごせるテーブル



自然に親しむ「宙(そら)の庭」



ゆったりと読書ができるライブラリー

治療と生活に役立つ
サポートプログラムの運営や
患者会活動の支援を行っています。



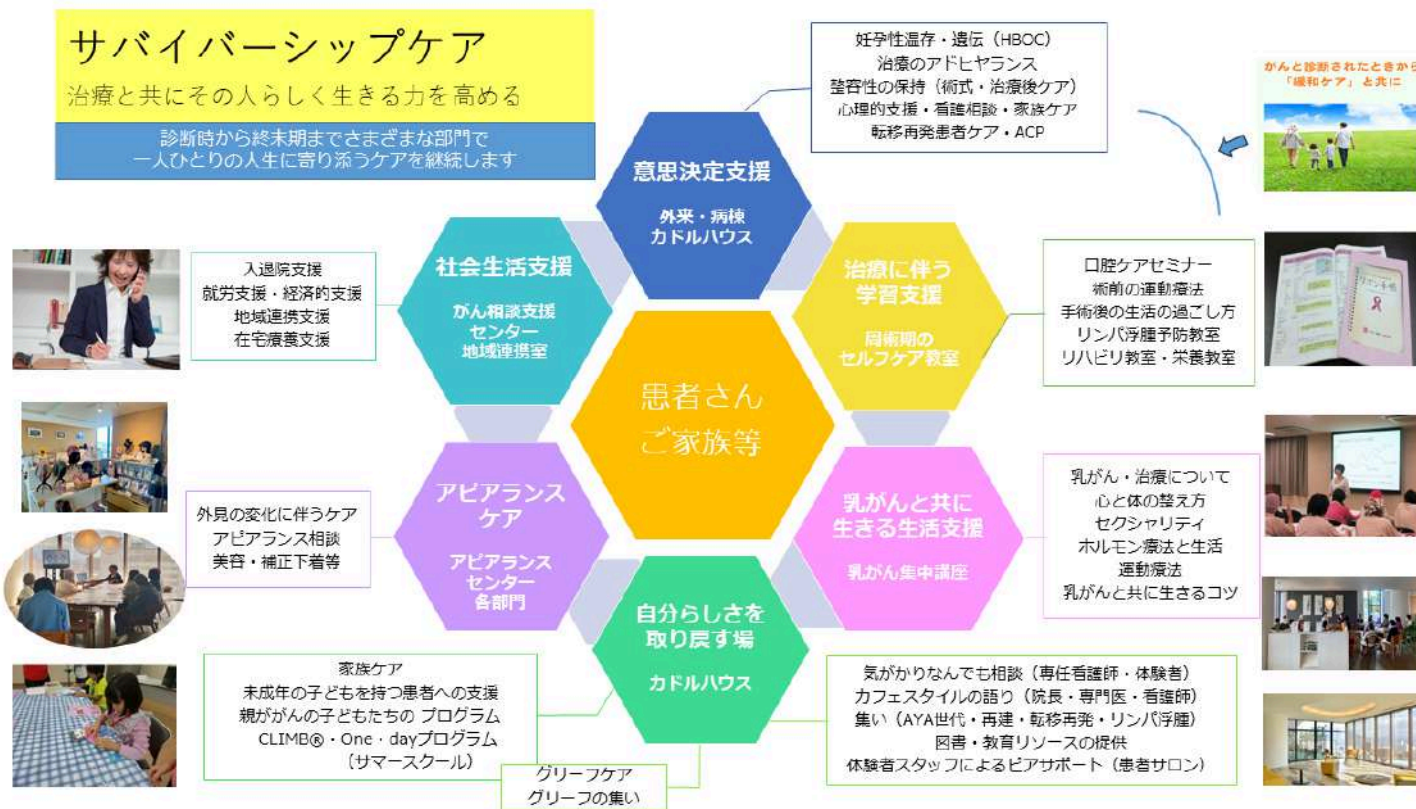
プログラム例（ネイル・ヨガ・アロマは入院時専用です）

◇がん患者さんが自分らしく生きることを支える相良病院のサバイバーシップ支援

サバイバーシップケア

治療と共にその人らしく生きる力を高める

診断時から終末期までさまざまな部門で
一人ひとりの人生に寄り添うケアを継続します



「放射線治療Q&A」

専門医が患者さんの声を直接聞き、一人ひとりの疑問
や質問に直接こたえるグループプログラムです。

「限られた外来や診察の場ではなかなか聞けないことが
聞けてよかった」と患者さんにも好評です。

「カドルカフェ」

カフェのように気軽な雰囲気集い、がんにつわる
不安や悩みを語り合えるグループプログラムです。
経験を積んだ看護師がファシリテーターを務め、患者
さん同士の交流もサポートします。

「アピアランスケア教室」「ネイルケア」

カドルハウス併設のアピアランスセンターの専門スタ
ッフが、がんの治療に伴うアピアランス（外見）の変
化への対処法をレクチャーします。化学療法中の脱
毛、爪、肌などのケア方法を学ぶことができます。

「癒しのヨガ」「癒しのアロマセラピー」

「患者サロン」「グリーフケアの集い」

「未成年のお子さんを持つ方の集い」

※日程は相良病院ホームページに掲載しています。